Ⅳ 第３次阿波市総合戦略

１．はじめに …… 78

２．総合戦略の期間 …… 78

３．総合戦略の推進体制 …… 78

４．総合戦略の４つの基本目標 … 79

1. はじめに

本市では、人口減少問題の克服と持続可能な地域づくりを目指し、平成27（2015）年度に「第 1 次阿波市総合戦略」を策定し、令和元（2019）年度にはそれまでの取り組みに新たな視点を加えた「第 2 次阿波市総合戦略」を策定し、様々な取り組みを推進してきました。

この度、人口減少を可能な限り抑制し、住民が日々の暮らしに幸福と生きがいを感じられるふるさと阿波市の実現に向けて、行政や市民、また民間企業等が連携して行う地方創生の取り組みの指針となる「第 3 次阿波市総合戦略」を策定します。

本戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「地方版総合戦略」として位置づけるものであり、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」及び「デジタル田園都市国家構想総合戦略（2023改訂版）」を勘案して策定します。

2. 総合戦略の期間

第 3 次阿波市総合戦略は、第 3 次阿波市総合計画前期基本計画と終期を合わせます（計画期間：令和 7（2025）年度から令和11（2029）年度までの 5 年間）。なお、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（計画期間：令和 5 （2023）年度から令和 9 （2027）年度までの 5 年間）の改訂に合わせて、必要な場合は改訂を行うこととしつつ、各施策・事業の効率的・効果的な実施に向けた進行管理を行います。

3. 総合戦略の推進体制

本戦略を策定するにあたっては、市民や中高生世代を対象としたアンケート調査や産官学金等の有識者からの意見などを踏まえ、策定しました。

また、今後の計画推進にあたっては、本戦略をベースに国の交付金や、地方財政措置の動向も踏まえ、適宜、財源や全体の予算配分の見直しなど健全な財政運営に留意しながら、庁内部局横断的な地方創生推進プロジェクトチームなどを活用した計画的、効率的な取り組みを進めるとともに、「阿波市まち・ひと・しごと創生本部」による自己評価や「阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議」による外部評価を行い、毎年度計画の見直しを実施します。

4. 総合戦略の4つの基本目標

前戦略に引き続き以下の４つの基本目標を定め、切れ目のない施策の展開を図ります。

基本目標1

新しい人の流れづくり



● 基本的な方向性

阿波市への新たな人の流れを創出するために、自然と調和した住環境をはじめとした「阿波市の魅力」を全国へ発信します。

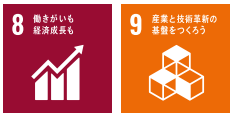
また、観光・交流拠点の管理活用、イベントの活用、農業や歴史・文化・食等を生かした観光の展開を図りながら、徳島県東部地域 DMO の構成市町村及び企業と連携した広域的な観光地域づくりを目指します。

さらに、定住・移住に関する相談体制や支援を推進することで定住者の増加を図ります。あわせて良質・安全な住宅建築及び改修の促進や雇用促進に向けた取り組みを推進することによって定住の基盤を整備していきます。

数値目標	現状値（令和5年度）	目標値
社会増減数	－51人／年	－50人／年 （最終年度末時点）

基本目標2

地域における仕事づくり



● 基本的な方向性

阿波市に人が住み続けるためには、生活の糧となる収入が得られる「仕事」が必要です。この「雇用の場」の確保は、阿波市に人を呼び込み、住み続ける上で欠かせない取り組みであると言えます。

そこで、交通網の整備、農用地の保全、企業立地の促進、新規創業等の支援、さらに商工業経営の支援を多面的に推進することで、雇用の確保へと結びつく産業基盤の整備を図ります。

また、地域特性を生かした「阿波市ブランド」の展開や、野菜ソムリエの育成を行うことで、阿波市ならではの個性を持った産業育成を行い、新たな仕事づくりにつなげていきます。

数値目標	現状値（令和5年度）	目標値
① 新規就農者数	9人／年	40人／5年
② 企業立地件数	1件／年	3件／5年

基本目標3

結婚・出産・子育ての希望づくり



● 基本的な方向性

近年、核家族化の進行や地域における支え合いの意識の希薄化が進んでいることから、子育て等への負担や不安の軽減を図り、出産・子育てを望む方が安心して、子どもを産み、働きながら、子育てができる環境づくりを行うことが重要です。

そこで、結婚～妊娠・出産～子育て～教育にわたって、切れ目のない支援を充実するとともに、母子手帳アプリの活用や乳幼児健診の実施をはじめとした多様な子育て支援施策を推進することによって、市民や企業、行政など地域全体で支え合う子育て環境づくりを推進します。

数値目標	現状値（令和5年度）	目標値
出生数	117人	120人／年 （最終年度末時点）

基本目標4

活力ある暮らしやすい地域づくり



● 基本的な方向性

阿波市の魅力を高め、新しい人の流れをつくり、「ひと」「しごと」の好循環を継続していくためには、安全・安心に暮らすことのできるまちづくりの推進が重要です。

このまちづくりを行っていく上で、最も重要な役割を担うのは人材です。そのため、地方創生の取り組みや地域づくりを支える人材の育成や掘り起こし、そして誰もが居場所、役割、生きがいを持ち、健康でいきいきと活躍できるまちづくりを推進します。

また、全ての世代の市民がやすらぎの中で暮らすことのできる環境整備、自然災害の少ない地理的条件を生かした、広域的な防災拠点としての役割と機能の強化などに取り組みます。

さらに、行政内部の ICT 環境や、自治体 DX の推進によって、業務の効率化とサービスの充実を図ります。

数値目標	現状値（令和5年度）	目標値
① 1日の学校生活で GIGA 端末を利用した児童生徒の割合	—	90%／年
② 小学校区防災訓練参加者数	3,179人	4,500人 （最終年度末時点）